

## 益田市人権・同和問題基本計画に対する意見と市の考え方について

| 人権・同和問題解決推進委員会からのご意見 |   | ご意見に対する市の考え方  |
|----------------------|---|---|
| ページ                  | 意見の内容   |   |
| 7P                   | [人権課題：同和問題]<br>人権センターは、隣保館としての位置づけ、隣保館機能を有している。文言ではっきりと同和教育に対して特化された役割を担っている施設として、隣保館としての位置づけを明記されてもよいのでは？  | 委員からの意見を取り入れ、人権センターの役割として隣保館としての位置付けを明記したい。   |
| 9P                   | [人権課題：女性]<br>一番下の行に、ワーク・ライフ・バランスの実現という言葉が使っているが、ワーク・ライフ・バランスのとれた、という表記の方がよいのでは？   | ワークライフバランスは「仕事と家庭の調和」と訳され、それぞれバランスがとれた状態を意味するため、計画案どおりとしたい。                                   |
| 10P                  | [人権課題：子ども]<br>現行計画では、「ウ 特に支援が必要な子どもや家庭への支援」とあるが、改定案には見受けられない。改正案に、その部分も盛り込むのか？  | 特に支援が必要な子どもへの支援として、①生活上貧困である子ども（家庭）への支援（子どもの貧困）、②発達障がいなど特別支援が必要な子どもへの支援について、2つの視点に立った記載を加えたい。 |
| 10P                  | [人権課題：子ども]<br>子どもの生活環境や生育環境を整えていくという取組や視点が抜けてしまっているのではないかと？<br>子どもの貧困、特別支援を必要とする子どもたちの課題についての視点を盛り込んでほしい。   |   |
| 14P                  | [人権課題：障がいのある人]<br>「ウ 自立と社会参加の促進」とある。自立ということだが、障がいがあると自立ということは実際難しい。依存したり頼らなければ社会参加できないということがある。そこで、障がいのある人の「生活の質の向上と社会参加」という言葉はいかがだろうか？                       | 障がい者の自立と社会参加を基本とする障害者基本法の理念を踏まえ策定された障がい者基本計画「あんしんいきいきプラン」との整合性を図り、計画案どおりとしたい。                 |
| 15P                  | [人権課題：障がいのある人]<br>高齢者や子どもにはあったが、障がいのある方に対しても虐待をするということがあるので、避けたり、傷つける言葉を使うのかも含めて、虐待の内容も入れていただきたい。   | 委員からの意見を取り入れ、【施策の方向性と取組】に、障がい者虐待の取組について内容を加えたい。   |
| 18P                  | [人権課題：拉致問題]<br>本市においても益田ひろみさんのことがあるので、具体的に現状と課題に盛り込んだらよいのでは？  | 委員からの意見を取り入れ、益田ひろみさんの内容を加えたい。   |
| 19P                  | [人権課題：犯罪被害者等]<br>施策の方向性と取組で、関係機関等の連携が1番であげられている。他課題を見ると、基本として意識啓発の推進がまず始めにあがっている。犯罪被害者等に関しては、意識啓発の必要がないということで削除しているのか？  | 関係機関との連携だけでなく、意識啓発への取組を包含していたが、委員からの意見を取り入れ、文字として表記したい。                                       |
| 20P                  | [人権課題：インターネットによる人権侵害]<br>「2. 子ども」の「オ 情報モラル教育の推進」に合わせて、ここにも何か一つ項目があると強調されていいのでは？、近年、携帯電話等の普及によって、健康的な問題や、事件に巻き込まれたりいじめに繋がったりする子どもが多い。この部分を改めて強調する必要があるのではないかと？ | 委員からの意見を取り入れ、さらに強調する内容を加えたい。  |